

晩秋から早春にかけて石蓐を描く方が多い。初冬の海岸の岩場に黄色い花を咲かせるたきまさに惹かれる。

- | | |
|-------------------------------------|------------------|
| 1. 植物画としての構図創り、言葉の力をかりてと画像イメージを自覚する | 2. 観察ポイント |
| 3. 植物画制作のための記録用写真撮影 | 4. 黄色な花のスケッチと決定線 |
| 5. 花弁の彩色、陰色 | 6. 葉の彩色の為の絵具の準備 |
| 7. 葉の彩色 | |

1. 植物画としての構図創り

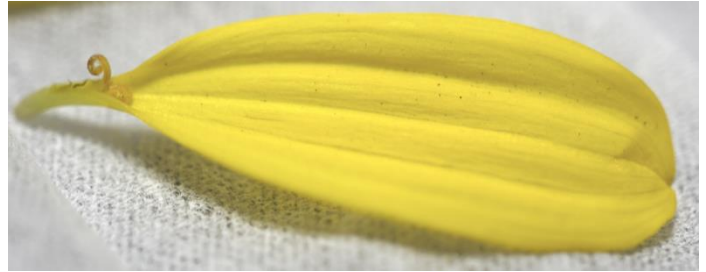
作品例も参考にしつつ、とらわれずに独創的(自分の主題、表現したいイメージ)で動きのある構図を練ってください。舞台(キャンバス)サイズの制約の中で、レイアウト、花や茎の方向性、余白、重なりを活用などを検討する。



- ・言葉の力をかりてと画像イメージ、構図、配色を練る : 「海に向かって飛び出すような」、「~の心情」、etc.
- ・思い切った構図へのチャレンジは楽しい : 放射構図、X 構図、逆三角、パーツの組合せ方、仰角に工夫、etc.

2. 観察ポイント

2-1.花の観察 : 花の下にテッシュペーパーを配して撮影しておく。白い背景は薄い色の微妙な陰を撮影できる。舌状花卉の形状・色味・茎への付き方、筒状花の形状など細部を。花芯を拡大して観察し、形状や色味を観察する。舌状花のスジの本数、舌状花の先端形状、筒状花、シベの先、花芯の蕾群を観察しながらスケッチ。

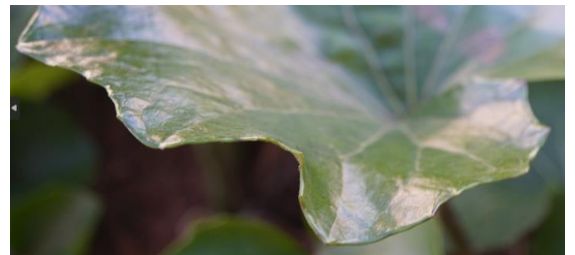


2-2.葉の観察: 葉脈ブロックごとのハイライトの形状を観てスケッチ、ブロックを囲む線は陰色を置く目印となる

・縁の部分:

葉の厚みを見せる線状のハイライトを記録。

亀の甲羅状のブロックをスケッチしておく。線に沿って陰色を置く。



・葉面の凹凸

ハイライトの明るさには「鈍い空色」と「紙の色」の2種類ある。

・葉の地色

生育環境により様々。現場で色味を記録。



3. 植物画制作のための記録用写真撮影

- ・細部のド Up 撮影を何枚も記録しておく: 花卉、花芯、筒状化、葉の鋸歯部、茎の枝分かれ部、ワタ状の毛など。
- ・葉は屋外で撮影する。室内光での撮影画像に比べ、ハイライトが生きいきして見える。光量の差を実感!

4. スケッチと決定線

- ・花の形取りは、楕円、円筒、円錐形で素早く行う。
- ・薄い色の花は、決定戦は手の力を抜いて、1本の連続線で極力薄く描く。

5. 花卉の彩色;ハイライト作りと陰色彩色

5-1. 薄い色の花は、鉛筆の決定線を消すと清楚にマイルドに仕上がる。

5-1-1. 輪郭の鉛筆線を消す方法:

5-1-2. 輪郭線を花色の絵具で描く方法:

5-2. 花卉への陰付け:

5-2-1. 後で陰色を重ねる彩色方法:

5-2-2. 始めに陰色を塗る彩色方法:



6. 葉の彩色のための絵具の準備 : ビリジャン、ビリジャンヒューとの混色により

様々なグリーンを作っておく。別資料「Green を混色で作る、Viridian との混色で緑色をつくる」を参照下さい。

7. 葉の彩色: 細部を描く(絵具を置く、細かくボカす)筆、細い線状に絵具を置く筆、広くボカす太筆を使い分ける。

2-1.花の観察

花の下にティッシュペーパーを配して撮影しておく。
舌状花弁の形状・色味・茎への付き方、筒状花の形状。
舌状花：スジの本数、先端形状を観察。

2-1.花の観察

4.花のスケッチ

決定線
形取り、ラフスケッチ

4.花のスケッチ

形取り、ラフスケッチ
決定線

5-1-1.黄色の花の輪郭線を消す方法

- 塗り残す4本のハイライトを確認する。
- 決定線。輪郭の決定線は彩色後に消しゴムで消す。
- 輪郭線とハイライトを塗り残す。輪郭線に絵具を載せないように塗る。
- 輪郭線のみを消しゴムで消す。
- 縦スジに沿って陰色をのせる。

5-1-2.輪郭線を黄色系の絵具で描く方法

- 塗り残すハイライトを確認する。
- 鉛筆の決定線。
- 鉛筆の決定線に沿って絵具で細く決定線を描く。
- 輪郭の鉛筆の決定線を消しゴムで消すと絵具の決定線が残る。
- 縦スジに沿って陰色をのせる。

5-2-1.花卉の凹凸の陰を後で載せる方法

- スジ状の陰を観察する。
- スジ状の谷の陰を彩色。
- 筒状花の筒やシベは鉛筆で決定線を描いておく。筆、尖った色鉛、丸ペンなどで陰を彩色。
- 筒状花の筒の右側、丸い蕾の右下に陰色を加える。
- 花卉のハイライトを残しながら重ね塗り。
- 花卉に陰色を重ねる。

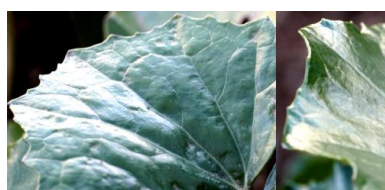
5-2-2.はじめに花卉の凹凸の陰を塗る方法

- スジ状の陰を観察する。
- 決定線は細い1本の連続線で。
- 彩色の最初に陰を塗る。
- 彩色1
- 彩色2
- 彩色3

3. ツワブキの葉の植物画制作用記録写真:屋外の自然光がベター



室内光での撮影画像:
トーンが弱く明暗が曖昧で鈍い。



屋外自然光での撮影画像:
陰影にメリハリがあり、彩色し易い。

7. 葉の彩色用筆の使い分け

- ・面相筆
- ・蒔絵筆
- ・リス毛丸筆

